

令和8年度 第1回博物館協議会 議事録

日 時：令和8年7月1日（水）14：00～15：00

場 所：根城公民館 2階 ホール

出席委員：6名

滝尻善英会長、古里淳副会長、元沢弘志委員、川守田礼子委員、
鳥谷部隆雄委員、里村由紀子委員

（※欠席4名 平間恵美委員、豊巻裕史委員、大野勉委員、葛西浩子委員）

事務局：6名

小保内博物館館長、佐々木博物館副館長、下村南郷歴史民俗資料館長、
米田主査、野沢主査兼学芸員、小林主査兼学芸員

次第

1 会長挨拶

2 案件

（1）令和7年度事業実施報告について

（2）令和8年度事業計画について

（3）その他

※1 省略

2 案件（1）令和7年度事業実施報告 質疑応答

（事務局説明後、質疑応答）

●会長

ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

●委員

年報 11 ページの西園小学校への出前事業についてお伺いします。「昔のくらし」と「えんぶり」の授業は、2 コマで実施したのでしょうか。

○事務局

はい、2 コマで実施しました。

● 会長

それでは、ご質問等がないようですので、本件については以上とし、次の案件に移ります。

2 案件（2）令和8年度事業計画について 質疑応答

（事務局説明後、質疑応答）

●会長

ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

まず私からお伺いします。令和7年度も資料の寄贈があったとのことですが、リニューアルに伴い、令和8年度は新収蔵資料展を開催しない予定となっています。令和7年度及び令和8年度に収蔵した資料は、どのように公開する予定でしょうか。

○事務局

リニューアル後に開催する最初の「新収蔵資料展」において、令和7年度から令和9年度までに収蔵した資料をまとめて公開する予定です。対象となる資料数が例年より多くなりますので、展示方法についてはこれから詳細を検討いたしますが、リニューアル後に必ず実施いたします。

●会長

年報にある村井芳雲作の「三社大祭山車雛形」がどのようなものか興味があり、お伺いしました。

別件ですが、地震による被害状況はいかがでしょうか。

○事務局

館内の被害状況ですが、昨年12月8日に発生した地震では、市指定文化財である山車人形「神功皇后と武内宿禰」が転倒しました。現在、専門業者に修繕の見積もりを依頼しているところです。

また、6月下旬に発生した地震では、民俗展示室にある復元家屋周辺の壁や家屋本体にひび割れなどの被害が確認されました。リニューアル後も引き続き展示する予定ですので、現在、修繕可能な業者に見積もりを依頼している状況です。

●会長

史跡根城の広場はいかがですか。

○事務局

時計塔の外装パネルが一部脱落したため、安全確保のため取り外しています。また、主殿にもひび割れや部材のずれなどの被害が確認されています。

●会長

修繕に必要な予算はついているのでしょうか。

○事務局

現在、修繕方法や必要経費を整理している段階です。

●会長

南郷歴史民俗資料館の状況はいかがでしょう。

○事務局

展示物の一部に転倒やずれはありましたが、施設全体として大きな被害はありませんでした。

●会長

市内でも地域によって被害の程度に差があるようです。大館地区などは被害が大きかったと聞いています。

先日、八戸ブックセンターへ足を運んだ際にもお話を伺ったのですが、昨年12月の地震の後に修繕したばかりの読書ルームのクロスに、またひびが入ってしまっていて困っているという話をしていました。

●委員

6月の新聞報道等で、全国的に博物館の収蔵スペース不足や、それに伴う資料廃棄の現状が取り上げられていました。昨年の協議会で新規収蔵時の取扱いについて質問した際、「八戸市博物館の収蔵庫はすでに満杯」との説明がありましたが、収蔵資料の取扱いについて具体的な対応方針がありましたら教えてください。

○事務局

現在の収蔵庫は収蔵率が100%を超えている状況ですが、今後の具体的な方針はまだ決まっていません。リニューアル事業終了後は、新たな博物館の整備について検討する段階に入る予定ですので、その中で収蔵環境の在り方や資料の整理・保存の在り方についても、本格的に検討していく予定です。

●委員

方針が決まりましたら、市民にも広く情報提供していただければと思います。

2 案件（３）その他 質疑応答

●会長

事務局から何かありますか。

○事務局

特にありません。

●会長

委員の皆様からご意見やご感想がありましたらお願いいたします。

●委員

南郷歴史民俗資料館で実施している「島守めぐり」を鷗盟大学で実施したところ、大変好評で、今後も継続してやることになりました。今後は中居林の子ども会や福祉協議会からの依頼を受けて実施する予定です。

●委員

史跡根城の広場でガイド活動を行っていますが、一昨年度のガイド利用者数は2,646人でしたが、昨年度は2,391人となり、255人減少しました。主な要因は団体利用者の減少によるものですが、今年度は団体予約も入っており、利用者数は回復傾向にあります。

また、南部氏庭園でもガイド活動を行っていますが、地震により灯籠が損傷したため、来園者から修繕時期について質問を受けることがあります。市の担当課に確認したところ、予算上の理由から現時点では修繕の予定はないとのことでした。来園者への説明にも苦慮しておりますので、メインの灯籠については、できるだけ早期に修繕していただければと思います。

●会長

この件は、文化創造推進課の所管ですね。事務局から何かありますか。

○事務局

南部氏庭園については、先の6月市議会でも一般質問がありましたので、今後何らかの対応が検討されるものと考えています。

●委員

リニューアル後の博物館を大変楽しみにしています。大学では「新しい八戸市博物館

に期待するもの」をテーマに学生へ小論文を課す予定です。何か興味深い内容があれば、今後この場でも紹介したいと思います。

●委員

リニューアルで整備される導入シアターは、どのような内容になるのでしょうか。

○事務局

八戸市の歴史や特色を約3分で紹介する映像を上映し、展示を見学する前に八戸の歴史全体を理解していただくための導入展示となる予定です。

●委員

先ほど、リニューアル後に新たな博物館の整備について検討するとのお話がありましたが、いつ頃、こういった構想のものになりそうですか。

○事務局

博物館は開館から40年以上が経過しており、建物自体も将来的には更新を検討する時期を迎えます。建物の耐用年数などを踏まえると、今回のリニューアル後も長期間使用できるわけではありません。

また、新たな博物館を整備するには、構想の策定から完成まで10年程度を要すると見込まれます。そのため、リニューアル後はできるだけ早い段階から、新たな博物館整備の検討を進めていく必要があると考えています。

●委員

リニューアル後は、早い段階からその先を見据えた検討も始めるということですね。

○事務局

そのように考えています。近年は、展示のリニューアルをおおむね10年程度の周期で実施しながら施設を維持していくことが一般的です。しかし、八戸市博物館では開館以来、大規模な展示リニューアルを実施してこなかったため、時期が遅れて本格的な展示更新を行っているところです。

●委員

休館中も多くの事業が計画されており、大変良い取組だと思います。幼稚園にも案内が届くたびに掲示して周知しています。手形・足形づくりの参加者が多いことから、

小さなお子さんを持つ保護者の関心の高さがうかがえます。リニューアル後の博物館にも期待しています。

●会長

先ほど南部氏庭園の話題が出ましたが、私たちは「おたや」と呼んで親しんでいます。現在の運営予算は約 400 万円で、一般公開も春と秋の限られた期間に実施されており、「もっと有効に活用できるのではないか」という声もあります。かつて茶室を取り壊した際には、中里市長の時代に新たな施設を整備するという話もありましたが、現在まで実現には至っていません。

市制施行 100 周年を契機として、何らかの施設整備が進めばよいという声もあります。南部氏庭園は博物館とも関わりが深く、襖絵を保管しているほか、委員の皆様にもガイド活動にご協力いただいています。今後、何か動きがありました際には、引き続きご協力をお願いしたいと思います。

(発言なし)

それでは、ご意見等がないようですので、本日の案件は以上といたします。進行を事務局へお返しいたします。